

【高速道路での交通安全について】

1 高速道路での基本的な事故防止ポイント

(1) スピードは控えめに！

スピードは出せば出すほど運転操作ミスやスリップを引き起こす要因となります。

「制限速度を守ることは、命を守ること」と考えて運転しましょう。

(2) 前をよく見て運転！

高速道路では、わずかな時間の脇見が追突事故や対面通行区間における対向車線へのはみ出し事故等、重大事故に直結します。(時速70kmの場合、1秒間で進む距離は約20m) **運転に集中し、前をよく見て、安全運転**に心がけて下さい。

(3) 早めの休憩でリフレッシュ！

高速道路で運転すると、集中力の持続によって自分が思う以上の疲労とストレスが蓄積されます。無理なスケジュールを立てず、**SAやPAに入って早めの休憩を取る**ようにして下さい。

(4) 確実な車両点検を！

車両が故障し高速道路上で停車すれば、後続車両との交通事故等、二次被害に遭う可能性が高くなります。自分が運転する車の燃料や冷却水、エンジンオイル、ファンベルト、タイヤの空気圧や溝等、**運転前に車両点検を確実に行う**ようにして下さい。

2 事故や故障等の緊急時における対応

交通事故や車両故障が発生すれば、非常駐車帯や路肩にやむを得ず停車することがあります。そういった緊急時には、

- ・ **発炎筒や三角表示板等を後方に設置**する。
- ・ ガードレールの外側等の**安全な場所に避難**する。
- ・ 非常電話や携帯電話を使用して、発生した**事故や故障の状況を通報**する。

といった対応を落ち着いて行って下さい。

3 「あおり運転」等の危険な行為への対応

全国的に発生し、社会問題となっている「あおり運転」等の悪質危険な行為を受けた場合は、次の点に注意しましょう。

- ・ 相手にせず、距離を取って、**落ち着いて運転**する。
- ・ SAやPAに**避難して、110番通報**する。
- ・ 相手に停車させられた場合は、すぐに110番通報し、**警察が到着するまでは窓を閉めたうえドアロック**し、車内で待機する。

4 高速道路関係機関の連絡先

高速道路上で事件事故等が発生した場合は、下記のいずれかに通報して下さい。

- (1) 警察 「110番」
- (2) 道路緊急ダイヤル 「#9110」
- (3) 道路管制センター 「高速道路に設置された非常電話」